

白峰南嶺の 一面に飛び出す 新ルート



山梨県
笹山[黒河内岳]

写真と文◎植松一好[白黒会]

白峰南嶺の一角にそびえる笹山(2733㍍)は、1997年山梨百名山に選定され、多くの登山者を迎えるようになった。しかし、笹山へ直接登る道はなく、農鳥岳より南下し黒河内岳、大籠岳を経由するか、

橋を渡り右側に奈良田第2発電所を見て敷地内を進み、取水で潤れた白河内を渡り、左側に第3発電所を見送ると、第3発電所の取水管理道に辿り着く。手すりの付いた立派な道で高度を稼げば取水管理棟に出る。

早川町新倉から転付時に登り白河内を経由し北上するしかない。途中に山小屋や水場もなく、登山道も不明瞭な部分が多く、テント持参の2泊3日の日程とベテランの同行が必須で、登山条件の厳しい山といわれてきた。
山梨県岳連では、地元早川町の依頼をうけ、2008年から笹山に至る東尾根(笹山尾根)を整備した。これを利用すれば1泊2日で笹山に至り、南ア南部の展望が楽しめるほか、長期縦走や豪雨時は、エスケープルートとしても利用できる。
県道早川線を辿り、奈良田湖にかかる吊り橋が笹山の登山口になる。

ここからは管理棟のフェンスに沿って進み、顕著な尾根通しの踏み跡を行く。やがて山の神の祠、杉と松が抱き合った巨木に遭遇する。このあたりはアセビが多い。道は尾根通しにはつきりしていてマーキングもある。1344㍍の標高点で明るい尾根に飛び出す。ここから右側斜面はカラマツの植樹帯である。
尾根道は明瞭で1603㍍の標高点に出る。ここには水場への案内板がある。このあたりからツガが多くなり植生が変わってくる。2200㍍のガレ場は、本コースで唯一眺望のいい場所で、北東側が開け、鋭利

な北岳が目飛び込んでくる。尾根は2320㍍付近で平坦地となる。時間的にもロケーション的にもここがベースキャンプの適地。このあたりは2重山稜にもなっていて窪地には水溜まりも発見できる。
翌日は山頂をピストンする。この平坦地を抜けると尾根はまた顕著となり、傾斜もきつく、やがて背丈ほどのハイマツに遭遇すれば、そこが2718㍍笹山南峰である。山梨百名山の標柱はここに立っている。さらに北に10分行けば眺望のいい北峰だ。ここには静岡県の立派な標柱が立っている。下山は往路を戻る。



① 笹山北峰から南峰と富士山
② 奈良田湖から笹山尾根を望む
③ 水場への標識



DATA

アクセス●JR身延線身延駅(山梨タウン)から1時間35分)奈良田。山梨交通☎0552-23-0821
参考タイム●第1日=奈良田(10分)奈良田湖(1時間)山の神(1時間)1344m(50分)1603m(1時間)1932m(50分)2200mガレ場(20分)2320mBC。5時間10分
第2日=BC(1時間30分)笹山南峰(10分)

北峰(10分)南峰(1時間)2320mBC(1時間10分)1603m(1時間)山の神(1時間)奈良田。6時間
2万5千円●奈良田、塩見岳
メモ●奈良田湖の吊り橋の入り口に駐車スペースあり。水場は1603m地点から南西側に往復20分。テント場は2320m地点の平坦地がよい。
問い合わせ●早川町役場☎0556-45-2511